※令和４年度以降入学生用

学校番号	211

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	30 時間でマスターOffice2021　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・あなた自身の考えや意見が問われる場面では、他者の考えや意見を十分に理解し、相手に自分の考えを理解してもらえるためのより良い表現はどのようにすればよいか考え、学んでいきましょう。
・学習する内容を自らのこれからの生活の場面でどう利用できるか、今後の社会にどう反映できるかを想定しながら理解を深めましょう。
・ワークや演習等を通して、基本的なリテラシー能力を身につけ、これからの生活に活用できるようにしましょう。

2　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報の表現と管理、情報デザインの構築、コンテンツの制作と発信に必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。
(1) 情報の表現と管理、情報デザインの構築、コンテンツの制作について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
(2) 情報の表現と管理、情報デザインの構築、コンテンツの制作に関する課題を発見し、産業社会に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3)適切かつ効果的な、情報の表現と管理、情報デザインの構築、コンテンツの創造を目指して自ら学び、情報の表現とコンテンツの制作に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報の各分野に関する基礎的･基本的な知識･技能を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解し、適切に活用している。	情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	情報の表現	表計算ソフト データサイエンス データの表現 グラフ	a: グラフの種別とそのグラフがあらわす意味を理解するとともに表計算ソフトを活用した表やグラフを作成することができる。 b: 発信内容にあったデータを考え、収集し、適切な表現を用いてそのデータの特徴を表現することができる。 c: 身の回りのデータに興味を持ち、適切な表現を主体的に考えている。	小テスト 課題	課題	ワークシート等提出物
	情報の管理と情報デザイン	文書デザイン ビジネス文書 論理的な表現	a: 文書の基本的なレイアウト、文字のフォントやスタイルなどについて理解するとともに，実際に報告書やレポートを作成することができる。 b: 報告者やレポートの目的に沿って、文書の構成やレイアウト等の体裁を考え、ワープロを用いて読む人が理解しやすい文書を作成することができる。 c: わかりやすい報告書やレポートを作成するため，文書の構成やレイアウトについて自ら進んで工夫し、教員の助言や相互評価に基づいて改善しようとしている。	小テスト 課題	課題	ワークシート等提出物
2	静止画のコンテンツ	静止画による表現 静止画の編集 静止画のコンテンツ制作	a:画像の構成やその効果、データの特性を理解し、効果的な撮影やグラフィックソフトを用いた編集ができる。 b:静止画の利用目的や活用場所に応じて撮影、グラフィックソフトを用いた編集ができる。 c:身の回りの静止画から製作者の意図やより適切な表現を主体的に考えている。	小テスト 課題	課題	ワークシート等提出物

※令和４年度以降入学生用

	情報デザイン	情報の収集と検討 コンセプトの立案 情報の構造化と表現	a: 課題に対する解決案を検討するために、情報の収集・整理することができる。 b: 課題の分析の方法を考え、適切に選択し、解決策を考えることができる。 c:課題に対する理解を深め、その解決の改善を図ろうとしている。	小テスト 課題	課題	ワークシート等提出物
3	動画のコンテンツ	コンテンツの企画 動画による表現 動画の編集 動画のコンテンツ制作	a:動画の構成やその効果、データの特性を理解し、効果的な撮影や動画編集ソフトを用いた編集ができる。 b:動画の利用目的や活用場所に応じて撮影、動画編集ソフトを用いた編集ができる。 c:身の回りの動画から製作者の意図やより適切な表現を主体的に考えている。	小テスト 課題	課題	ワークシート等提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度